

お客さま本位の業務運営に関する
取組方針（アクションプラン）及び取組状況・指標（KPI）

2021年5月

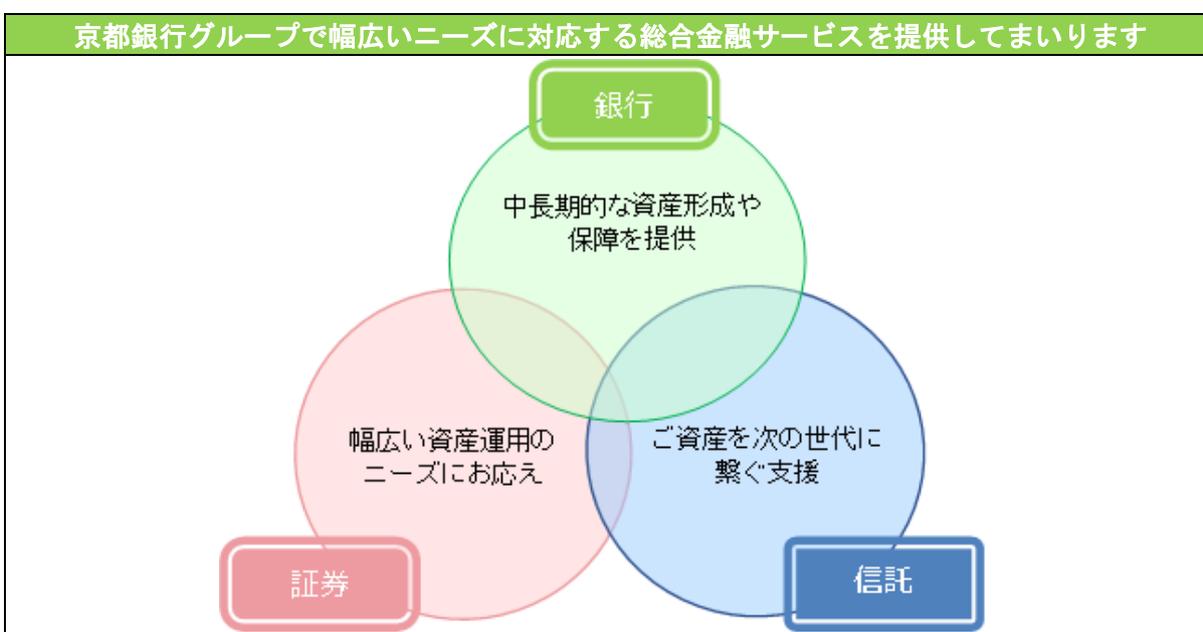
京都銀行グループ※は金融庁が2017年3月公表した、国民の安定的な資産形成を図るための「顧客本位の業務運営にかかる原則」（以下、本原則）を採択し、本原則に基づき「お客さま本位の業務運営に関する基本方針（以下、本方針）」を制定しております。また、本方針に基づいた「取組方針（アクションプラン）」及び指標（KPI）を、お客さまにわかりやすくご確認いただけるよう定期的に見直しを行い、公表を行った上で、企業文化としての定着を図ってまいります。

※対象となるグループ会社：株式会社京都銀行、京銀証券株式会社

「顧客本位の業務運営にかかる原則」に基づく当行の基本方針	原則
1. お客さまにとって最良の金融サービスの提供	2
2. お客さまにとって分かりやすい情報の提供	4・5・6
3. 利益相反の適切な管理	3
4. コンサルティング機能の強化、お客さま本位の業務運営に向けた体制整備	7

具体的な「取組方針（アクションプラン）」と具体的な取組状況は後述の通りです。取組方針に沿った具体的な計数指標は以下の通りです。計数指標については継続的に推移を確認し、お客さま本位の業務運営の取組に向けて活用してまいります。

具体的な計数指標一覧	
(1) 投資信託＋京銀証券預かり資産残高、取引先数	P 2
(2) 投資信託運用損益別お客さま比率（共通KPI）	P 3
（参考）顧客運用損益プラス先比率の推移	
（参考）ファンド別損益プラス先の平均保有期間割合	
（参考）長期・積立・分散項目別損益プラス先の比率	
(3) 投資信託預り残高上位20銘柄コスト・リターン（共通KPI）	P 4
(4) 投資信託預り残高上位20銘柄リスク・リターン（共通KPI）	P 4
（参考）投資信託預り残高上位20銘柄	
(5) 投資信託の平均保有期間	P 6
(6) 投信自動積立、外貨普通預金自動積立サービス（月間振替額・契約先数）	P 6
（参考）投信自動積立年代別保有割合	
(7) お客さま向けセミナー開催回数	P 7
(8) FP関連資格※取得者数	P 10
※CFP、AFP、1級・2級ファイナンシャル・プランニング（以下、FP）技能士	



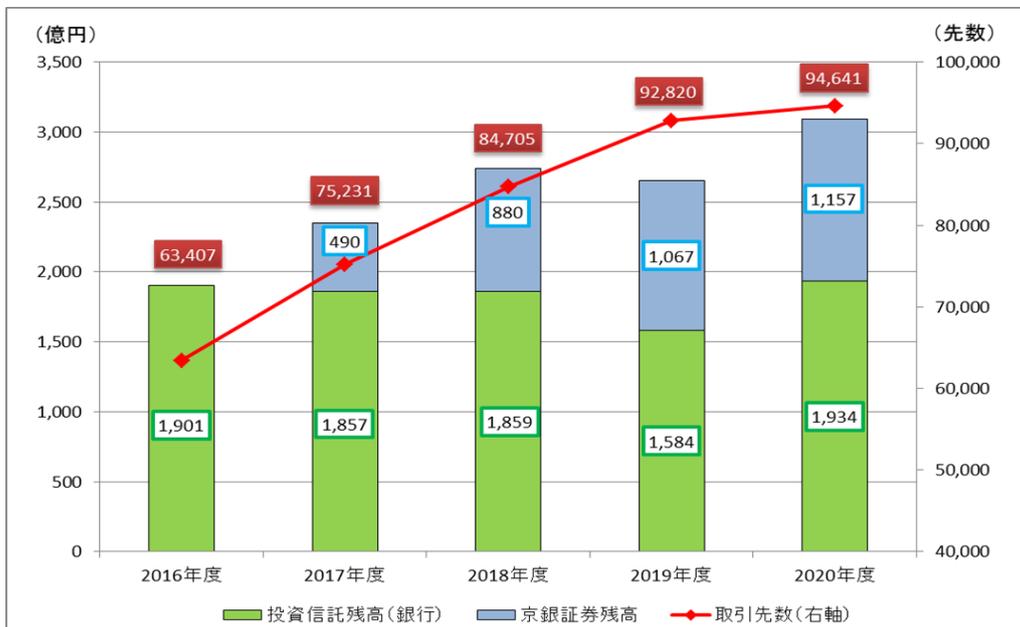
基本方針1. お客様にとって最良の金融サービスの提供

＜主な取組方針（アクションプラン）＞

- お客さまとの対話を通じて、お客さまの意向や資産状況をよく知り、人生100年時代におけるライフステージに添った、適切な商品・サービスの提案を行います。
- 「銀行・証券・信託」の機能・サービスの充実を図り、あらゆる世代のお客さまの幅広いニーズに的確に対応してまいります。
- お客さまの長期安定的な資産形成を支援するため、長期・積立・分散投資の提案を行います。

(1) 投資信託+京銀証券預かり資産残高、取引先数*

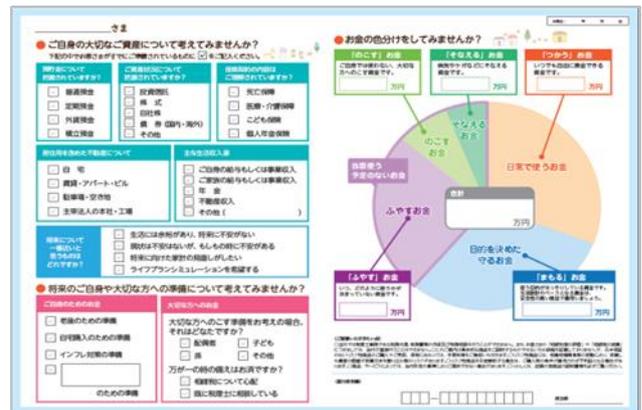
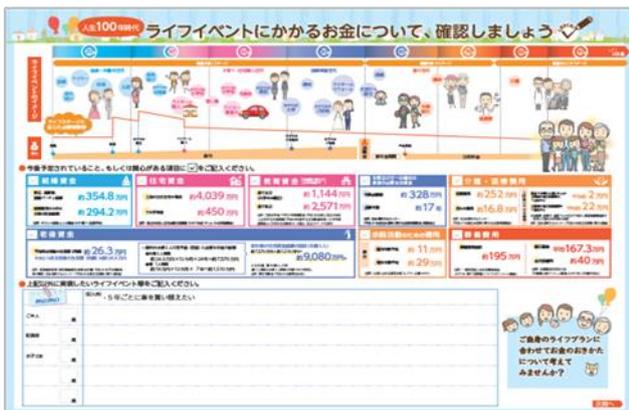
お客さま本位の業務運営の進展に向け、人生100年時代のライフステージに添ったコンサルティングの継続実施により当行グループでの預かり資産残高及び取引先数は、順調に増加しております。より多くのお客さまに選んでいただけるよう、引き続きお客さまに寄り添った金融サービスの提供に努めてまいります。



※取引先数は投資信託（銀行）、京銀証券の預かり資産残高があるお客さまの延べ人数

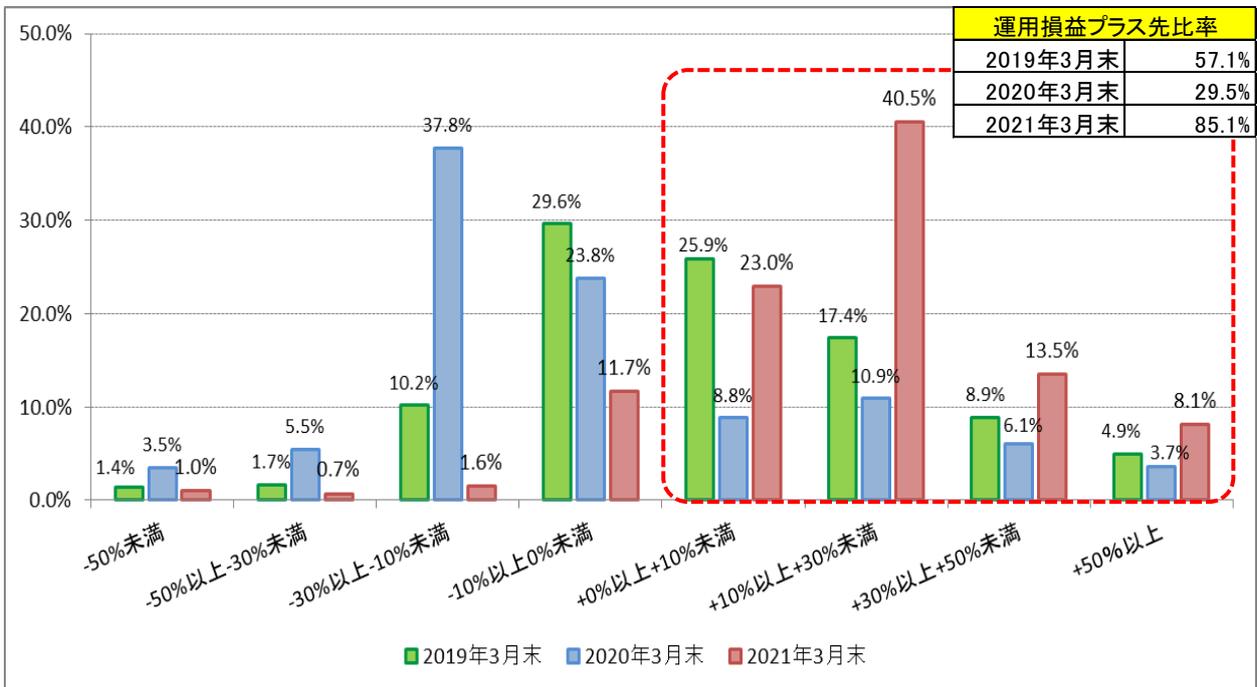
(参考) ライフプランご相談シート

ご相談シート等によりお客さまのご意向やご資産状況等をしっかりお聞きし、ライフステージに応じたご提案を行っております。

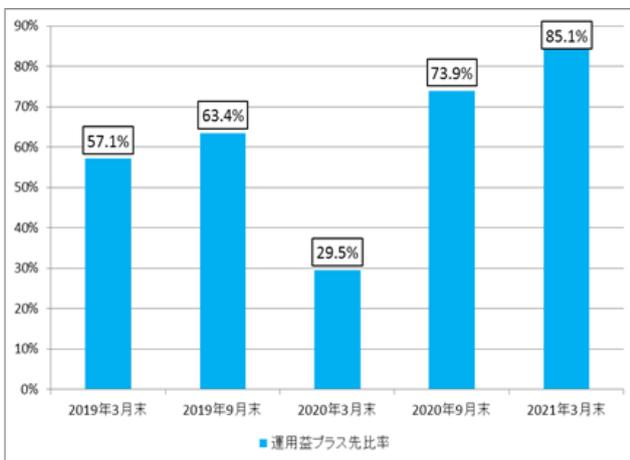


(2) 投資信託運用損益別お客さま比率（共通KPI）

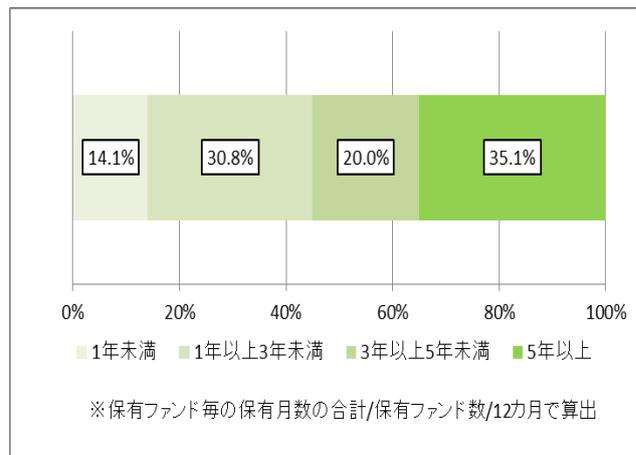
2021年3月末時点の投資信託を保有されているお客さまの運用損益プラス先比率は全体の85.1%まで増加しております。



(参考) 顧客運用損益プラス先比率の推移

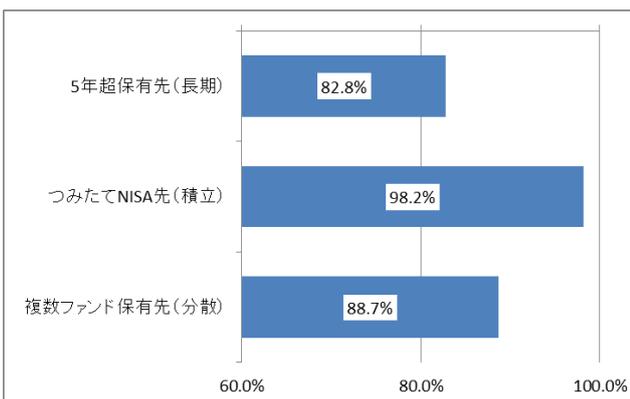


(参考) ファンド別運用損益プラス先の平均保有期間割合



※2021年3月末時点、2021年1月以降導入商品は対象外

(参考) 長期・積立・分散項目別損益プラス先の比率（2021年3月末時点）



※複数ファンド保有先については顧客別で算出

短期的には相場変動の影響を受けやすい傾向にありますが、損益プラス先の平均保有期間割合では5年以上保有している先が最も多くなっております。

また、お客さまの長期安定的な資産形成を支援する取組として有効な「長期・積立・分散」投資によるご提案を継続的に実施してまいります。

(3) (4) 投資信託預り残高上位20銘柄コスト・リターン/リスク・リターン (共通KPI)

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」2018年6月に金融庁が公表した定義に沿って算出しております。残高上位20銘柄の平均コスト：1.89%、平均リターン：8.77%
平均リスク：14.03%となりました。

＜コスト・リターン定義＞

2021年3月末時点で、設定期間5年超のファンドのみ

コスト：申込手数料率(税込)÷5年+信託報酬率(税込・年率)

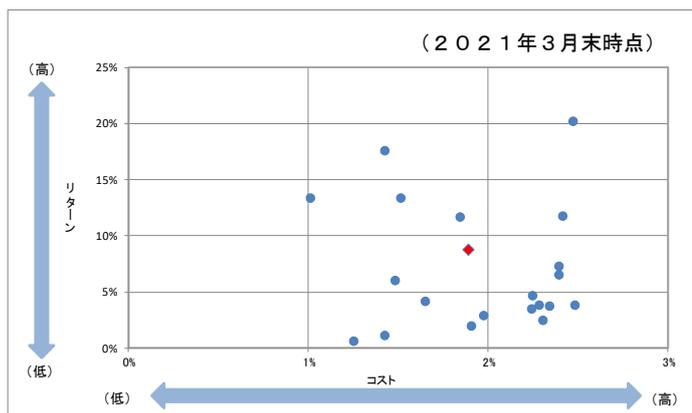
リターン：過去5年間のトータルリターン(年率)

＜リスク・リターン定義＞

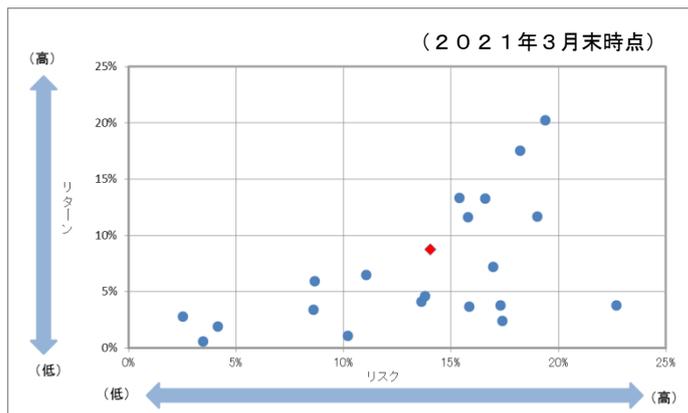
2021年3月末時点で設定期間5年超のファンドのみ

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率)

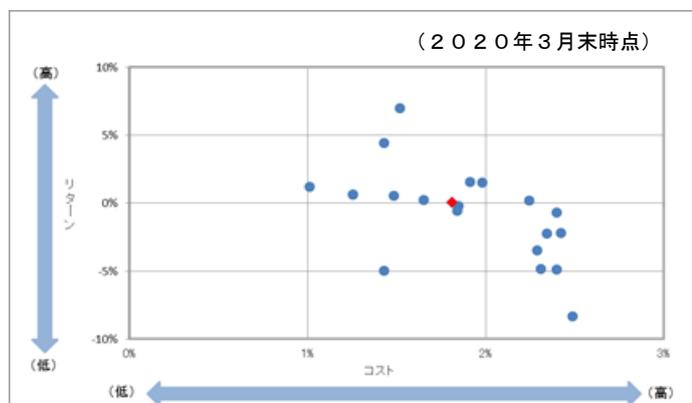
リターン：過去5年間のトータルリターン(年率)



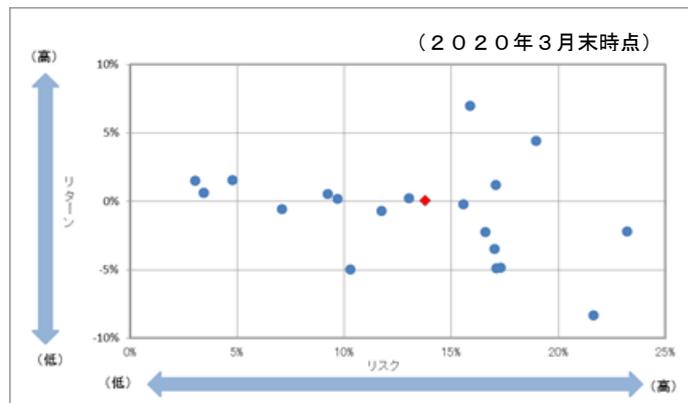
◆残高加重平均値	コスト	リターン
	1.89%	8.77%



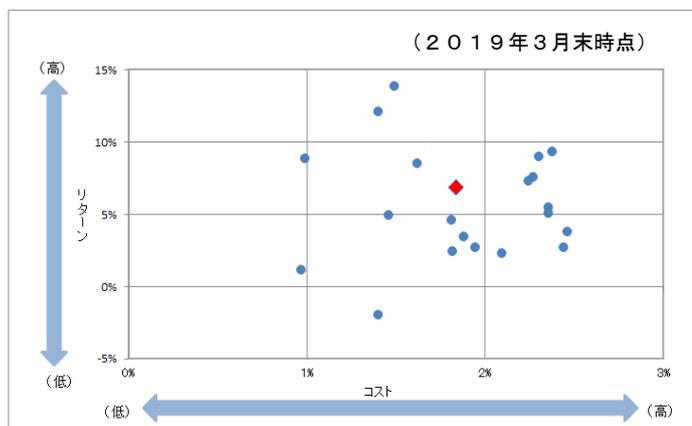
◆残高加重平均値	リスク	リターン
	14.03%	8.77%



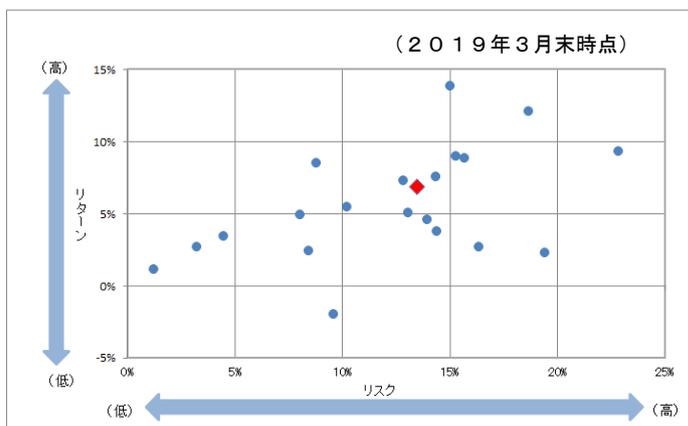
◆残高加重平均値	コスト	リターン
	1.81%	0.07%



◆残高加重平均値	リスク	リターン
	13.77%	0.07%



◆残高加重平均値	コスト	リターン
	1.84%	6.88%



◆残高加重平均値	リスク	リターン
	13.46%	6.88%

(参考) 投資信託預り残高上位 20 銘柄 (設定期間 5 年超のファンドのみ)

◆2021 年 3 月末時点

順位	ファンド名	コスト	リターン	リスク
1	ストックインデックスファンド225	1.01%	13.31%	16.58%
2	ロボット・テクノロジー関連株ーロボテックー	2.48%	20.22%	19.38%
3	中華圏株式ファンド(毎月分配型)(愛称:チャイワン)	2.42%	11.69%	19.01%
4	京都・滋賀インデックスファンド(愛称:京(みやこ)ファンド)	1.43%	17.56%	18.22%
5	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49%	5.95%	8.66%
6	新光USーREITオープン(愛称:ゼウス)	2.34%	3.70%	15.83%
7	投資のソムリエ	1.98%	2.82%	2.52%
8	ひふみプラス	1.52%	13.32%	15.38%
9	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	2.49%	3.80%	22.70%
10	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91%	1.93%	4.14%
11	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.40%	6.53%	11.06%
12	MHAM JーREITアクティブオープン毎月決算コース(愛称:物件満彩)	1.65%	4.14%	13.61%
13	ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型)	2.24%	3.42%	8.59%
14	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.43%	1.07%	10.18%
15	ビクテ・グローバル・インカム株式(毎月分配)	2.25%	4.63%	13.78%
16	グローバル好配当株オープン	1.85%	11.63%	15.80%
17	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)(愛称:円奏会(年1回決算型))	1.25%	0.59%	3.46%
18	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	2.31%	2.43%	17.39%
19	三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン(愛称:椰子の実)	2.40%	7.22%	16.96%
20	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)(愛称:世界家主倶楽部)	2.29%	3.79%	17.31%

◆2020 年 3 月末時点

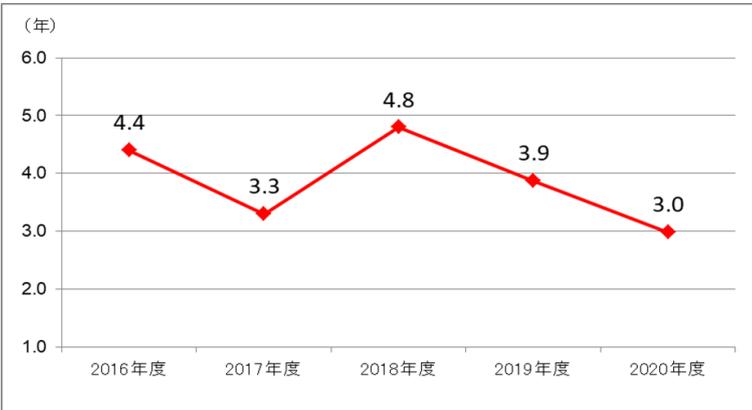
順位	ファンド名	コスト	リターン	リスク
1	ストックインデックスファンド225	1.01%	1.20%	17.07%
2	ひふみプラス	1.52%	6.98%	15.86%
3	中華圏株式ファンド(毎月分配型)(愛称:チャイワン)	2.42%	-2.21%	23.19%
4	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49%	0.54%	9.21%
5	新光USーREITオープン(愛称:ゼウス)	2.34%	-2.24%	16.59%
6	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91%	1.57%	4.77%
7	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.40%	-0.71%	11.74%
8	ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型)	2.24%	0.21%	9.68%
9	京都・滋賀インデックスファンド(愛称:京(みやこ)ファンド)	1.43%	4.44%	18.94%
10	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	2.49%	-8.32%	21.63%
11	投資のソムリエ	1.98%	1.52%	3.02%
12	MHAM JーREITアクティブオープン毎月決算コース(愛称:物件満彩)	1.65%	0.24%	13.02%
13	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.43%	-4.96%	10.27%
14	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)(愛称:円奏会(年1回決算型))	1.25%	0.62%	3.44%
15	グローバル好配当株オープン	1.85%	-0.20%	15.56%
16	フランクリン・テンブルトン米国政府証券ファンド(愛称:メイフラワー号)	1.84%	-0.58%	7.09%
17	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	2.31%	-4.84%	17.29%
18	三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン(愛称:椰子の実)	2.40%	-4.90%	17.11%
19	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)(愛称:円奏会)	1.25%	0.62%	3.44%
20	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)(愛称:世界家主倶楽部)	2.29%	-3.46%	17.01%

◆2019 年 3 月末時点

順位	ファンド名	コスト	リターン	リスク
1	ストックインデックスファンド225	0.99%	8.85%	15.69%
2	ひふみプラス	1.49%	13.87%	15.03%
3	新光USーREITオープン 愛称「ゼウス」	2.30%	8.98%	15.30%
4	中華圏株式ファンド(毎月分配型) 愛称「チャイワン」	2.38%	9.29%	22.82%
5	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.46%	4.90%	8.05%
6	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	2.44%	2.69%	16.35%
7	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.35%	5.44%	10.23%
8	MHAM JーREITアクティブオープン毎月決算(物件満彩)	1.62%	8.54%	8.78%
9	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.40%	-1.94%	9.61%
10	京都・滋賀インデックスファンド 愛称「京(みやこ)ファンド」	1.40%	12.10%	18.65%
11	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	2.27%	7.57%	14.34%
12	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.88%	3.43%	4.47%
13	三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン(椰子の実)	2.35%	5.05%	13.06%
14	グローバル好配当株オープン	1.81%	4.56%	13.94%
15	DIAMワールド・リート・インカム・オープン 世界家主倶楽部	2.25%	7.32%	12.84%
16	投資のソムリエ	1.94%	2.70%	3.25%
17	F・テンブルトン米国政府証券ファンド 愛称「メイフラワー号」	1.82%	2.40%	8.43%
18	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	0.97%	1.11%	1.25%
19	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	2.10%	2.27%	19.39%
20	ワールド・インフラ好配当株式「世界のかけ橋(毎月決算型)」	2.46%	3.79%	14.40%

(5) 投資信託の平均保有期間

2020年度の株式上昇局面における投資信託の解約の影響等を受け、平均保有期間は3.0年となりました。お客さまのライフプランに合わせて、長期的な視点に立った資産形成のご提案及びアフターフォローに努めてまいります。

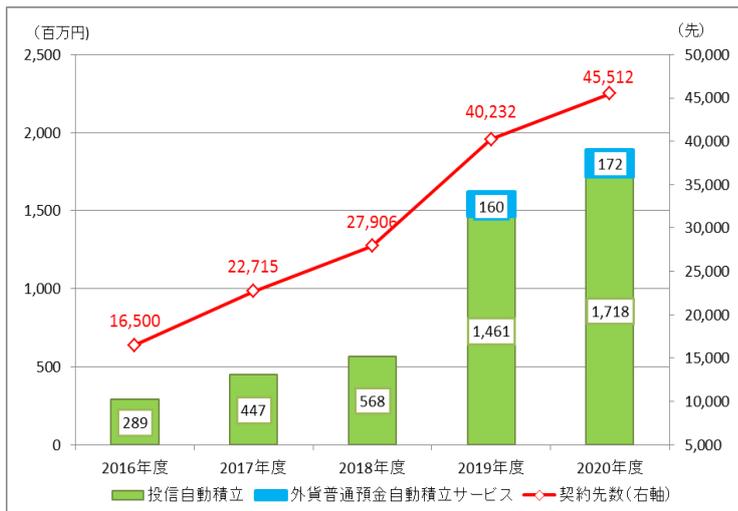


※平均保有期間＝

$$(\text{前年度末残高} + \text{年度末残高}) \div 2 \div (\text{年間解約額} + \text{年間償還額})$$

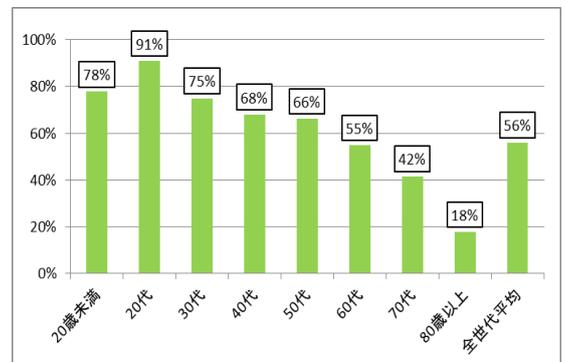
(6) 投信自動積立、外貨普通預金自動積立サービス (月間振替額・契約先数)

長期安定的な資産形成を支援するため投信自動積立及び外貨普通預金自動積立サービス“ドルフィン”を積極的にご提案した結果、月間振替額・契約先数は増加しております。



※各年度末時点の月間振替額・契約先数

(参考) 投信自動積立年代別保有割合
「将来に向けた資産形成をしたい」というニーズのある資産形成層のお客さまを中心に、ご提案しております。



※2021年3月末時点

(参考) ポートフォリオ提案ツール

お客さまのご意向をしっかりと聞きし、将来に向けたライフプランに応じたポートフォリオのご提案を行っております。

1 轉業のイベント
2 3年後までに行く
3 リタイア生活

STEP1 投資期間の選択
STEP2 投資額の選択
STEP3 フォンドを推奨
STEP4 ポートフォリオの作成

運用期間: 1年, 3年, 5年, 10年, 15年, 20年, 25年, 30年 (30年を選択)

最初に投資できる金額 (投資元金): 0円, 200万円 (200万円を選択)

毎月の積立金額: 0.4万円, 5万円 (2.6万円を選択)

目標金額を達成させるためには、年3%で運用する必要があります。

STEP1 投資期間
STEP2 投資額の選択
STEP3 フォンドを推奨
STEP4 ポートフォリオの作成

あなたにおすすめの投資スタイルは
堅実 (期待利1.4%以上3.5%以下)

資産種別	割合 (%)
国内株式	40%
海外株式	10%
債券	30%
商品	10%
現金	10%

資産種別	期待利 (%)	リスク						
国内株式	10.00%	高	10.00%	高	10.00%	高	10.00%	高
海外株式	10.00%	高	10.00%	高	10.00%	高	10.00%	高
債券	3.00%	低	3.00%	低	3.00%	低	3.00%	低
商品	10.00%	高	10.00%	高	10.00%	高	10.00%	高
現金	1.40%	低	1.40%	低	1.40%	低	1.40%	低

基本方針2. お客さまにとって分かりやすい情報の提供

<主な取組方針（アクションプラン）>

- 商品・サービスのご提案にあたっては類似商品・代替商品・サービス等を比較しながら、わかりやすい情報提供を行ってまいります。
- お客さまの保有資産の状況や市場の動向等を踏まえて、長期的な視点にも配慮した適時適切なアフターフォローを行います。
- 新しい生活様式に応じた情報発信・コンテンツの充実を図り、お客さまの投資判断に役立つ情報の提供を行い、わかりやすく、かつ丁寧に説明いたします。

（7）お客さま向けセミナー開催回数

新しい生活様式に対応するため2020年7月よりWEBセミナーを開始いたしました。地域社会の金融リテラシー向上に向けて、さまざまなテーマでセミナーを開催しております。

	セミナー開催回数
2018年度	435回
2019年度	438回
2020年度	55回

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から従来開催していた集合型のお客さまセミナーや営業店主催の職域先セミナーは休止し、WEBセミナーを実施しております。

セミナーの主なテーマ	
4月～6月	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見合わせました
7月	アフターコロナの投資環境見通し
8月	激動時代を生き抜く積立運用術
9月	米国大統領選挙の動向と世界経済の状況
10月	ゼロからの投資信託～投資信託のはじめ方～
11月	未来の自分に今できること～長期の視点にたった資産運用～
12月	2021年のグローバル相場展望と投資戦略
1月	2021年新春セミナー～注目高まるESGについて～
2月	考えよう、セカンドライフの資産運用
3月	人生100年時代の介護セミナー ～介護について知ることは家族の将来にそなえることです～



（参考）アフターフォローについて

目的	お客さまの預かり資産の状況（保有残高・評価損益等）や市場環境等をご説明し、ご不安の解消及び今後の運用方針等をご相談させていただくため、一定の基準を設けて定期的を実施しております。	
実施基準	定例	お客さまの損失状況やご年齢に応じて定期的にアフターフォローを実施しております。
	臨時	相場の急変時には市況のレポート等を用いて、丁寧な情報提供とご説明に努めております。

《お客さまにとって分かりやすい説明》

◆手数料に関しましては金融商品のご提供に際して、契約締結前交付書面や目論見書等を用いてわかりやすくご説明できるよう努めております。

《パンフレット》

《目論見書補足説明書》

購入金額	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
10万円	1,000	1,000	2,000	3,000
50万円	5,000	5,116	10,703	15,973
100万円	10,000	10,232	21,406	31,946
500万円	50,000	51,166	107,030	159,723
1,000万円	100,000	102,323	214,060	319,447

《重要事項確認書》

お申込み内容の試算結果 (実際の約定結果については別途お送りする「取引報告書」でご確認ください)			
約定期限※	円	手数料※	円
消費税※	円	合計	円
手数料率(税込)	%	※印の項目は四捨五入等の関係で実際の約定結果とは誤差が生じることがあります。	

投資信託の特徴や投資対象、手数料等について比較してお示しすることで、複数商品で比較検討しやすいよう努めております。また、投資信託の購入時は手数料率だけでなく、購入額に応じた手数料概算を実額でわかるよう明示してご説明しております。

- ◆保険商品についてはお客さまにご負担いただく費用とは別に金融商品の提供会社から販売代理店手数料を受取る場合があります、商品概要書等により明示してご説明しております。
- ◆ご高齢のお客さまがお取引をされる際は、複数の行員で対応させていただく場合やご家族のご同席をお願いさせていただく場合があります、より納得感のあるご提案をさせていただけるよう努めております。

◆お客さまのライフステージに応じて、資料等を用いながらわかりやすく、かつ丁寧に説明することに努めております。

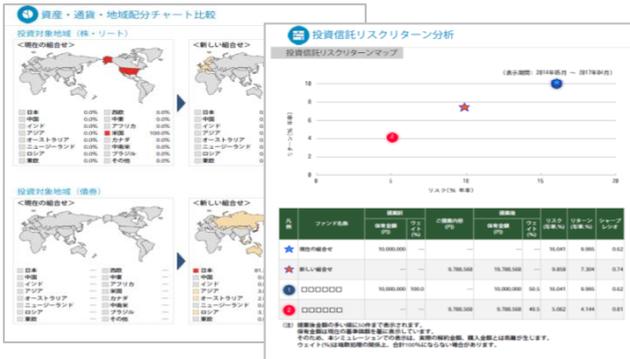
《資産をつくる》

《資産をふやす》

《資産をのこす・つなぐ》

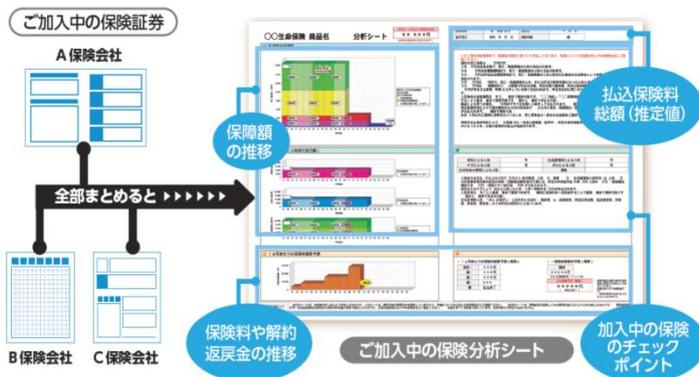
◆タブレット端末の活用により、申込手順のペーパーレス化を図ることで、お客さまの利便性を高めるとともに、情報提供資料、コンテンツの充実にも努めております。

《金融資産分析診断サービス》



お客さまが保有されている金融商品を「見える化」し、分析結果とお客さまのニーズを踏まえたご提案を行っております。

《保険証券分析サービス》



お客さまが契約されている保険証券をわかりやすく「見える化」し、分析結果をもとにご加入当初のご意向と現状に相違がないか等について、ご相談を承っております。

《相続税・贈与税試算ツール「FB-Robo」》

ご家族と相続財産について

ご家族（法定相続人）：

配偶者： 有 無

配偶者以外の法定相続人： 有 無

・ご存命の子の人数： 人

・お亡くなりになった子のうち子供（孫）がいる子の人数： 人

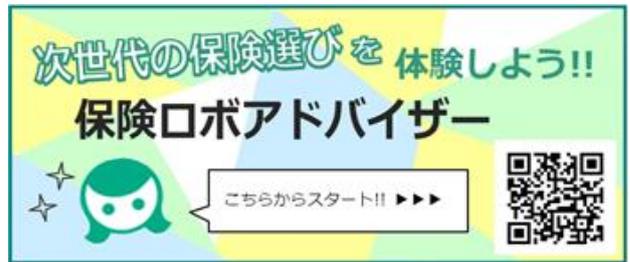
相続財産（課税価格）： 万円

法定相続人は3人になります。

戻る 計算する

相続・資産承継分野におけるコンサルティング機能の拡充を図るため、相続税・贈与税試算ツール「FB-Robo」を導入し、資産承継に向けた中長期的な支援に努めております。

◆京都銀行ホームページ、スマートフォン（京銀アプリ）から、投資信託や保険のご相談をしていただける「ロボアドバイザー」の導入を行っております。



基本方針3. 利益相反の適切な管理

<主な取組方針（アクションプラン）>

- 新商品導入時の利益相反にかかるリスクチェックを実施いたします。
- 乗換取引にかかるモニタリングを実施いたします。
- 外部評価機関を活用し取扱いファンドの定量・定性両面から運用状況等のモニタリングを実施いたします。

（参考）投資信託に関する管理プロセスについて

商品導入時	業務開発委員会を設置し、商品の採用可否について検討しております。 お客さまに適切な商品をお選びいただけるよう幅広い商品ラインアップを選定するとともに、導入にあたってはリスクの種類と大きさや手数料水準等の合理的根拠の適合性の検証を行っております。
年次	モーニングスター社が取扱いファンドに対して運用実績及び運用プロセス・管理体制等の観点から5段階評価を実施し、個別商品の状況をモニタリングしております。
随時	経済環境・市場動向やモーニングスター社によるモニタリング結果も踏まえて、お客さまのニーズに適した金融商品の提供を行うために取扱商品のラインナップの整理・強化に取り組んでおります。

基本方針4. コンサルティング機能の強化、お客さま本位の業務運営に向けた体制整備

<主な取組方針（アクションプラン）>

- FP関連資格の取得推進及び各種研修・ロールプレイング等の実施を通じてコンサルティング力向上に向けた人材育成を行います。
- お客さまのニーズに応じた提案ができるよう業績評価体系の整備に取り組んでまいります。
- お客さまアンケートを通じて、お客さまの声や評価に対して真摯に向きあい、サービス向上に努めてまいります。

（8）FP関連資格取得者数

2021年3月末時点の資格取得者数※は2,491人となっています。うちCFP・1級FP技能士の資格取得者数は前年度より67人増加し、318人となりました。お客さまのニーズに対して最適なご提案ができるよう、行員研修の強化を図り、資格取得者の増加に取り組んでまいります。

時 期	資格取得者数※	うちCFP・1級FP技能士
2019年3月末	2,531人	155人
2020年3月末	2,516人	251人
2021年3月末	2,491人	318人

※CFP、AFP、1級・2級FP技能士の合計

（参考）人材育成の取組について

資産運用業務担当者の育成についても育成ロードマップに基づいた研修プログラムにより、各行員のレベルアップを図っております。また、スキルチェックにより各人のスキルを可視化し、目標や課題を明確にする取組を行うと共に、スキル向上に向けて研修・自己研鑽ツールでサポートしていく体制を準備しています。

（参考）業績評価体系整備の取組について

- お客さまのライフステージに応じたコンサルティング営業を実践し、お客さまに信頼され選ばれる活動を促す業績評価体系の整備に取り組んでおります。
- ・手数料の実績に偏重しない販売体制構築に努めております。
 - ・販売プロセスを評価するとともに、預かり資産残高に軸を置いた業績評価をしております。

◆デジタル・リモート取引の推進取組

リモートによる相談業務の拡大や動画等の情報提供コンテンツの充実により、新しい生活様式に対応したコンサルティング態勢の構築に努めております。

《京銀オンライン相談のご案内》

《お役立ち動画コンテンツ》

「ご自宅等からお気軽にご相談!」
京銀オンライン相談のご案内
 無料相談 Web会議ツール「Webex」を用いて「オンライン相談」をご利用いただけます

ご自宅の端末からお気軽にご相談いただけます! 相手の顔を覗ながら、安心してご相談いただけます! 日本全国どこからでもご相談が可能です!

STEP1 お取引店にご連絡いただきオンライン相談を行う日時をご予約
 STEP2 お取引店よりオンライン相談の実施方法をご案内
 STEP3 お客さまご自身で「Webex」にアクセスいただきオンライン相談実施

お役立ち動画コンテンツ

毎日、忙しい時間を過ごされているあなたへ。生活の中の「すきま時間」で将来のお金のこと、考えてみませんか?

STEP1 資産運用とは?
 アニメでわかる初めての資産運用
 配信時間: 約3分

STEP2 ミライを変える資産形成とは?
 動画題: 資産形成の重要性
 配信時間: 約3分

資産づくりを考える
 資産づくりはなぜ必要?
 人生100年時代「未来のあなたのために」
 人生とお金と資産形成について考えてみませんか?

商品・サービスを知る
 あなたにあった資産づくりとは?
 あなたと一緒に未来へ歩んでいく
 資産づくりのパートナーを選んでみましょう!

商品を知る
 動画をCheck!

◆お客さま本位の業務運営に向けた取組

京都銀行グループの考え方やサポート内容等をまとめたリーフレットを活用し、お客さまとの信頼関係構築に取組んでおります。

《私たち京都銀行グループの『おもい』》

お客さまの豊かな人生計画に向けた資産形成のお手伝いをしたい

私たちが京都銀行グループの『おもい』

この冊子は、私たち京都銀行グループが、積極的な資産運用を提案する際に、心がけている「おもい」をまとめたものです。これら「資産運用」がもたらせるお客さまの「みなが」、すでに組み込んでいる方も含めて、すべてのお客さまにお届けしたいと考えています。

知らない銀行 京都銀行

お客さまの豊かな人生計画に向けた資産形成のお手伝いをしたい
 私たち京都銀行グループの『おもい』

お客さまに納得感のある資産づくりを

いつでも、いつまでも

もう一歩わかりやすく、もっと丁寧に

お客さまとの『おもい』の共有に向けて

この冊子のなかにある『おもい』を、より具体的に、お客さまにわかりやすくお伝えするため、京都銀行グループでは「お客さま本位の業務運営」に関する取組方針及び取組状況（KPI）を年度ごとに公表いたします。ここでは、その一環として紹介いたします。

家に関する情報は、京都銀行にて提供いたします。
 (https://www.kyotobank.co.jp/kip/bsis/management/kyu.htm)

※2020年3月末時点